



令和7年12月25日発行

学校だより

第9号

江戸川区立瑞江第三中学校

＜教育目標＞

- 1 自ら学んで、自己を高める生徒 【知性】
- 2 人を大切にして、共に生きる生徒 【敬愛】
- 3 心身が健やかで、活力のある生徒 【健康】

【心プロジェクト】

コミュニケーション力を高め & 「心の栄養」を蓄えよう

「心プロジェクト」を通してコミュニケーション力を高める取組を行っています。日々の生活を送るうえで、コミュニケーションは大切です。そこで、「コミュニケーション能力」とは何ですか?とAIに聞いてみました。回答を要約すると次の通りです。

コミュニケーション能力とは、「相手との関係を円滑にし、意思疎通をスムーズに行うための力」です。自分の考えを伝える「伝える力」だけでなく、相手の意見や感情を正しく理解する「受け取る力」も大切です。そして、それぞれに「言葉」と「言葉以外」の要素があります。

コミュニケーション能力を構成する要素は、4つです。

- ①「言葉で伝える力」
- ②「相手の話を聞く力」
- ③「言葉以外で伝える力」(表情、ジェスチャー、声のトーン(高さ低さ、スピード、大きさ、抑揚)など)
- ④「相手の振る舞いから理解する力」(表情や態度から、言葉の裏にある感情や意図を読み取る)

心プロ ポイント5

- ・自分の気持ちを理解しよう。
- ・相手の気持ちをイメージしよう。
- ・居心地のよい空間を作ろう。
- ・イラッとしたらひとやすみ。
- ・自分の気持ちを言葉にしよう。

では、どのようにしたらコミュニケーション能力が身に付くのでしょうか?

やはり、できるだけ顔の見える相手と言葉のやり取りをするのが一番です。いろいろな経験を通して時間をかけて育てるのが望ましいです。みんなの年代は失敗してもよい時期です。友だち同士であれば、行き違いがあったり、けんかをしたりしても、修復することを大切にして、身をもって学んでほしいと思います。

一方で、スマホやSNSを通したコミュニケーションは、表情や声のトーンがない状況のコミュニケーションですから、実はすごく難しいことです。使い方に気を付ける必要があります。

ここで少し話を発展させます。生成AIについてです。これから時代は、生成AIを適切に使えるようになることが大切だと言われています。都立学校では、そういう授業も始まっています。

生成AIは、読書感想文も作ってくれます。ここで大切なのは、「そもそも読書感想文は何のために書くのか」を考えることです。宿題だから、立派な感想文を書いて賞をもらうため、ではありません。

重要なのは書く過程です。どこが一番心に残ったのかを振り返り、人に伝わるように、自分の言葉でまとめ難しい作業です。しかし、そこが一番の肝です。「心の栄養」になる部分です。読書感想文を書くことを通して、自分と向き合い、つまり自分とコミュニケーションをとって、心や言葉の力をつけるところが一番楽しいところなのです。そんな美味しいところを生成AIに食べさせていては、もったいないのです。

生徒の皆さん、コミュニケーション能力を高めよう!失敗してもいいからね。でも、困ったときは相談ですよ!

これからも子ども達の成長を願って応援していきます。

本年もご支援ご協力ありがとうございました。



「百花縹乱」学芸発表会 10月25日(土)

スローガン「百花縹乱」の通り、たくさんの発表がありました。

紹介すると、午前中は舞台発表。演目は、茶道部「お点前」、弁論「苦手という盾」(2年)、海外派遣報告「青少年の翼 オーストラリア」(2年)、3年美術「つながるアニメーション」、美術部「アニメーション」、1学年発表「学校生活の様子・人権学習発表」、2学年発表「2泊3日移動教室」、3学年発表「修学旅行・平和へのメッセージ」、吹奏楽「Cogs in Harmony」。



午後は展示発表。団体は、教科(国語、社会、理科、技術家庭、英語)、総合的な学習(職業調べ、人権学習、移送教室、上級学校調べ、修学旅行、平和)、部活動(家庭科部、読書部、園芸ボランティア部)。

バラエティに富んだ、多くの学びが、この学び舎で営まれているのだと、感慨深いです。今年度は、デジタルを駆使した発表が多くありました。社会の変化、時代の流れを感じる学芸発表会でもありました。

3年生に向かって前進中！ 鎌倉校外学習 2学年 11月28日(金)

古都鎌倉には国内外から多くの観光客が訪れます。昭和39年(1964年)、そのシンボル鶴岡八幡宮の背後の裏山(御谷の森)に、宅地開発の話が持ち上がります。これに鎌倉市民は反対しました。この運動は全国へと広まり、全国からの寄付と鎌倉市からの援助金が合わせて、背後の森を買取りました。このような活動を「ナショナル・トラスト運動」と言います。さらに、昭和41年(1966年)には、この運動が契機となり、全国の美しい歴史的景観を守るための「古都保存法」が生まれました。この法律ができたことで、修学旅行で行く京都や奈良などの美しい景観も守られているのです。

さて、今回の校外学習は、昨年度の東京巡りを発展させ、鎌倉まで足を延ばして班行動で古都をめぐりました。目標は、①計画を立案・実行する力をレベルアップする、②調べまとめる力をレベルアップする、③互いに協力し合う態度をレベルアップする、④公共の場で、ルール・マナーを守り行動する、です。

班員で話し合いながら計画を立てられるようになったり、事前事後学習をすることでレベルの高い楽しさを味わえるようになったり、自分の役割を果たしながら困ったときは助け合って班活動を行えるようになったりと、成長が見られた校外学習でした。好天にも恵まれ、紅葉の鎌倉を楽しむことができました。



3年生に向かって前進中の2年生に期待がふくらみました。

「心の救急箱」を準備しておこう

嫌なことを言われて心が傷ついてもじっと我慢したり、嫌なことをされてカッとしたときに怒りをかみ殺して平気な顔をしてみせたり、後ですごく落ち込んだり、怒りが爆発したりすることはありませんか。

そうならないように傷口をそのままにしないで、気持ちがちょっとでもホッとする応急手当をしておきましょう。そうすると、ストレスになったことを冷静に見直し、対処できるようになります。

どんな応急手当を心の救急箱に入れておきましょうか。3つあると安心だと言われています。個人差はありますが、おすすめを紹介します。

- おすすめ1:「深呼吸」 …… 多くの人に効果のある方法です。吐くことを意識しましょう。
- おすすめ2:「ストレッチ」 …… 体を緩めると心も緩みます。
- おすすめ3:「水を飲む」 …… 一口ずつ、ゆっくり飲みましょう。